

平成 23 年度 情報通信技術系講習会報告

若松 進

工学系技術支援室 情報通信技術系

今年度の情報通信技術系技術講習会では、フリーソフト「Knoppix」を利用することにより「USB メモリから Linux を起動するための技術の取得」というテーマを企画した。

講習会では、「Knoppix」にインストールされている多くのフリーソフトの中から当技術系での利用価値が高いと思われる幾つかのソフトウェアに限定し、その利用方法についての説明を行った。また、随所で Knoppix の操作についての実演を行った。

なお、講習会参加者には関連資料、USB メモリ(4GB)、DVD-ROM を配布し、後日実習してもらう事とした。

本講習会には、本技術系から 10 名が参加した。

講習会の概要は、以下のとおりである。

開催日時：平成 22 年 9 月 28 日(水) 10：10～11：40

開催場所：技術部会議室(7 号館 B 棟 313 号室)

講師：業務調整会議メンバー

講習題目：USB メモリから Linux を起動するための技術の取得

プログラム：① Knoppix の概要

② USB へのインストール

③ Windows 機の救済方法

メモリテスト、USB 機器へのデータ保存、ネットワーク経由によるデータ保存、パーティションのサイズ変更・バックアップ

④ 収録されたアプリケーションの紹介

講習会参加者からは

- ① USB メモリの容量が 4GB で DVD からインストールするとパーティションが切れない。
- ② DVD から 4G の USB メモリに Linux をインストールして、起動するだけなら正常。その後、サーバーのハードディスクの領域を、その USB メモリに書き込むには容量が不足して無理。
- ③ DVD を読み込もうとすると、モニターにうまく表示されない（起動時にブートオプションをつけることによって解決）。
- ④ 8G の USB メモリだったら良かった。

等の意見があった。

今後、Windows パソコンが起動しないという状況に遭遇した際、本講習会で習得した知識を利用して解決してもらう事を望む。